

農業塾第8講 秋冬野菜の播種と定植後の管理

～アブラナ科・セリ科野菜編～



栽培基礎講座の様子



キャベツ定植実習の様子



人参播種実習の様子



セルトレイ播種実習の様子



セルトレイ播種実習の様子②

今回は、秋冬野菜の播種と定植後の管理について講習を行いました。

秋冬野菜の代表作物は、アブラナ科のキャベツ・白菜・ブロッコリー・大根。セリ科の人参やセロリがあります。

土作りから収穫までの栽培のポイントや連作障害への対応、育ちを左右する中耕のポイントなどを営農指導員が説明しました。

実習では、ほ場に播種・定植をする班、セルトレイに播種をする班の2班に分かれ作業を行いました。

播種・定植では、人参と大根の種を蒔き、キャベツとブロッコリーは苗の定植を行いました。播種・定植直後は、乾燥させないようにたっぷり水を与えることが重要だそうです。

大根の間引きは数回に分けて行います。本葉2～3枚時は「子葉がハート形♡」の株を、本葉6～7枚時以降は「小葉が大きく左右対称で、葉が立っている」ものを残すように間引くのがコツとのことです。

セルトレイに播種をする実習では、レタス・白菜・ブロッコリー・キャベツの種の中から、それぞれ好みの作物を選んで一粒ずつ丁寧に蒔きました。セルトレイに種を蒔く場合も、発芽するまではたっぷり水を与え、乾燥させないことが重要だそうです。

発芽するまでは日の当たらないところで管理し、発芽後は日の当たるところで育てるのがポイントです。



定植後の様子



播種したセルトレイは塾生へプレゼント。